



HP「辻よし子と歩む会」で検索



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・青木真知子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず！

## 辻さんの一般質問「学校におけるジェンダー平等」を傍聴して考えたこと

約 40 年前のこと、私は 25 歳、少女は 15 歳。私「男の子に生まれたかったって思わない？」。少女「全然思わない。女の子だという理由でやりたいことが出来なかったことなんてないから」。私は羨望の眼差しで彼女を見た。ちょうどその頃、家庭科・技術科の男女別学が共学に変わり、男女平等は順調に進んでいるように思えた。

しかし！！ 辻さんが繰り出す学校現場におけるジェンダー格差の数字には、気分が滅入る。あきる野市の公立小中学校における女性の管理職は男性に比べて極端に少ない。逆に育休取得はほとんど女性で、家事分担は女性が過重に担っている。生徒たちは、長が付く仕事は男性のもの、というアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）をしっかりと学んでしまう。

2000 年頃の男女混合名簿導入は、中学校ではなかなか進まなかったが、その裏に統一教会の影があったとは。当時はジェンダーフリーが議論の中心で性的マイノリティへの視点は聞かれなかったように思う。私たちが深めなければならない問題は多々あるのだ。

男性ばかりの管理職、女性中心の育休・家事分担、必要以上の男女分け、なかなか進まなかった男女混合名簿（ようやく来年度導入されるとのこと）、男女別の標準服、標準服の意味、トイレや更衣室の在り方、性に関する相談の在り方、隠れたカリキュラム etc.

当たり前になっていることを再考することで世界は生きやすくなる。あの少女も女であることを理由に道を閉ざされることなく生きてほしい。

(T・S 草花在住)



## 安保関連 3 文書改定

2022 年の暮れに「新しい戦前」という言葉が話題になった。テレビ番組「徹子の部屋」でタモリさんが発したそうだ。真意は不明だが、これに対し「最近の軍拡路線への警鐘だ」や、「より一層防衛に備えねばならないということだ」など、様々な意見が出ている。皆さんはこの言葉を聞いてどんな気持ちになるだろう。

2018 年 10 月横田基地にオスプレイが配備されてから、私はあきる野市と日の出町でほぼ月 1 回の頻度で開かれている小さな市民上映会<sup>※1</sup>に関わっている。横田基地の友好祭に行ったり、軍属が講師の英会話クラブに今でも通う私は、アメリカ文化や英語に親しめる横田基地を好ましく思っていたが、市民上映会に関わるようになって、身近に軍事基地があることの問題点を知るようになった。しかしこのような問題は多くの人知らない。防衛は生活者からあまりに遠く、自分ごとにはできない人が多いのではないかと。

昨年閣議決定された安保関連 3 文書の改定ではもっぱら防衛費倍増の財源が注目されたが、「増税」が出てきた事で、多くの人自分ごととして捉えることができるかもしれない。

政府の方針を前にして、私たちは立ち止まって語り合い、違う道、軍拡で対立を煽るのではなく、対話による平和的な共存の道を示したい。あきる野市でも市民有志による講演会が企画されている<sup>※2</sup>。

先の 3 文書改定に対し反対したり再考を促す意見書が、いくつかの市議会で採択されている。こうして地方議会や市民が活発に話題にして、今の軍拡路線にブレーキをかけていきたい。(I・A 瀬戸岡在住)

※1 オスプレイいやだ！あきる野 & 日の出市民上映会

※2 1/29「戦争ではなく、平和の準備を」青井美帆講演会 @ あきる野ルピアホール

## 福島を知ろう！

友人に誘われて参加している八王子教組の福島ツアー（震災翌年からコロナ禍の2年を除いて9回実行）参加も今回で4回目。

元原発技術者で現在子ども脱被ばく裁判原告団代表をされている今野さんの案内で2日間、色々見て回りました。

前回までは、あちこちに汚染土を詰めたフレコンバッグの山が見られ、立ち入り禁止地域やバリケード街（汚染が酷くて入れない住宅の前に作られた）もたくさんありました。それが今回は見事に更地だらけでした。今野さんは浪江町出身ですが卒業した小中高は全部無くなり、町の一等地に建てた自宅も帰還困難地域になり壊して更地に。その費用は汚染家屋ということで1500万円にも！

国から費用は出ましたが、それも2年前に打ち

切られ、周りに放置された立派な家々は避難先から戻るタイミングを逸し、自腹で壊す他なく、ローンも残り固定資産税まで取られるという悲惨な状況でした。

更地になった地面は基準値の8倍の線量でした。一方で、町民の去った更地を有名デザイナーが新しくデザインするイノベーション・コースト構想というものがいつの間にか始まり、浪江町や双葉町の海岸近くには新しい工場がどんどん建設され、「福島から世界を変える」というキャッチフレーズの国家プロジェクトが始まっています。まだまだ汚染の酷い所だらけなのに、更地にして証拠隠滅し、きれい事を並べて原発事故をなかった事にしようとする国のやり方に背筋が凍る思いがしまし



た。復興という名の下に町の人たちが切り捨てられていく現実を前に電力を送って貰っている都民として何が出来るか考えさせられた2日間でした。

(M・M 館谷在住)

無党派  
一人会派

### ボランティア大募集中！

**辻よし子の活動の輪を広げるために、  
あなたの手を貸してください！**

辻よし子は、政党や大きな組織に属さず、市民の横のつながりを大切に、草の根民主主義を目指して活動しています。

活動の輪をさらに広げるためには、「歩む会通信」や「市議会レポート」を通じて、辻よし子の活動を、一人でも多くの市民に知っていただくことが大切です。

現在、「辻よし子と歩む会」のメンバーがポスティングをしています。さらに多くの手が必要です。何枚でも、無理のない範囲で構いません。ぜひ、ポスティングのお手伝いをしてください。

詳しくは、下記まで。

電話& FAX : 042-596-4569 (佐橋)

e-mail : kusasigi@nifty.com

入会&活動のカンパも受け付けています ⇒

### ◆◆◆◆◆ 辻よし子・プロフィール ◆◆◆◆◆

1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、脱原発の市民活動を始める。2015年10月の補欠選挙で初当選。現在8年目。常任委員会は環境建設委員会。広報広聴委員会委員長。夫、次男、ネコ1匹と草花に暮らす。

「辻よし子と歩む会」

会員募集中！

年会費：1,000円（カンパ歓迎！）

郵便振替

加入者名 辻よし子と歩む会

口座番号 00140-9-430053

ゆうちょ銀行(店番)〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)

当座 0430053

